

は じ め に

“認知症かもしれない”と気づいたときに、必要な支援につなげることができ、住み慣れた地域で支えられる——そのような連続性のある支援体制の構築を目指して、京都市では、平成 25 年度から「～地域で気づき・つなぎ・支える～認知症総合支援事業」を実施しています。

認知症医療の入り口となる早期発見・早期相談・早期診断による支援を行うためには、地区医師会をはじめとする地域の医療職と、地域包括支援センターをはじめとする介護職との連携が必要不可欠です。

認知症総合支援事業のうち、「認知症対応 地域支援推進モデル事業」では、医療職と介護職の連携によって認知症の人とその家族を支援する取組を募集・実施しました。本冊はそれらの取組の経過や成果をまとめた事例集です。

平成 25 年度に実施された 6 つの取組は、それぞれ独自の切り口で認知症支援を進めておられ、現場の経験に基づく連携の工夫もバラエティに富んでいます。

日頃から認知症の支援をされている専門職の方々にもぜひご一読いただき、認知症になっても安心して暮らし続けていくことができるまちづくりをともに進めてまいりたいと考えております。

また、地域包括支援センターでは、「包括的・継続的ケアマネジメント事業」等において日頃から主治医や介護支援専門員等との多職種協働や、地域の関係機関との連携にご尽力いただいているところであり、本冊を今後の業務の参考として役立てていただければ幸いです。

紙面の都合上、掲載しきれなかった工夫もありますので、詳細は各事業実施者にお問い合わせいただき、貴重な経験の共有化をさらに図っていただければと思います。

引き続き、京都市といたしましても、医療と介護、福祉分野での更なる連携強化により、地域ぐるみで認知症の人とその家族を支える取組を推進してまいります。

最後に、本冊の作成にあたりましては、モデル事業実施者の皆様に多大なるご協力をいただきました。お忙しい中、貴重なご意見や資料をいただき、深く感謝申し上げます。

平成 26 年 3 月

京都市保健福祉局長 寿社会部長 寿福祉課

目 次

事業①	「右京区認知症市民公開講座 2014 知っておきたい認知症の知識」 一般社団法人 右京医師会	1
事業②	「北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会運営事業」 一般財団法人 京都地域医療学際研究所	7
事業③	「認知症の人とその家族のためのカフェ」 社会福祉法人 緑寿会	11
事業④	「なかぎょう物忘れなんでも相談会」 一般社団法人 中京東部医師会	17
事業⑤	「下京区・南区専用認知症相談コールセンターの設置（通称しもみなみディスカス）」 一般社団法人 下京西部医師会	21
事業⑥	「認知症リハビリテーション事例検討会」 社会福祉法人 青谷福社会	26
参 考	「認知症対応 地域支援推進モデル事業」概要及び企画提案募集要領	32

取組① 右京区認知症市民公開講座2014 「知っておきたい認知症の知識」

一般社団法人 右京医師会

1 実施主体の紹介

右京医師会が主催し、右京区ケアマネジャー連絡会、右京区地域包括支援センター、公益社団法人 認知症の人と家族の会京都府支部と共催しました。

2 実施地域の特徴

右京区では、2012年2月より右京医師会・右京区ケアマネジャー連絡会・右京区地域包括支援センターの共催で、年2回「右京区認知症連携懇話会」を開催してきました。毎回認知症困難事例を2～3例提示、多職種によるグループワーク、認知症専門医である宇多野病院 神経内科医長 須藤慎治先生に事例解説をしてもらっています。

2013年9月に開催した第4回懇話会では京北地域での困難事例を提示、地域の状況と合わせて発表してもらうことにより、京北地域以外の関係者にも問題を共有することができました。

3 取組の目的

認知症連携懇話会をこれまで計4回重ねることにより、医療・介護・福祉・行政関係者間での多職種連携はできつつありましたが、一般市民を巻き込んだ取組はこれまでできていませんでした。

当事者である認知症の人と家族に対して、また多くの一般市民に対しても、右京区の医療および介護の支援状況について各関係者が前に出て説明していく必要がありました。

4 取組の内容

①市民公開講座の開催

一般市民および医療・介護・福祉関係者を対象に、「右京区認知症市民公開講座 2014 知っておきたい認知症の知識」を開催しました。300名近くを収容する会場での大規模な実施は初めてでした。

【テーマ】「知っておきたい認知症の知識」

【日 時】2014年2月15日（土）

14時～17時

【場 所】花園会館教化ホール

【内 容】

○講演「早期診断から最新の治療、予防まで」
国立病院機構宇多野病院 神経内科医長
須藤慎治先生

○講演「認知症の人の思い、家族の思い」
認知症の人と家族の会 京都府支部副代表
山添洋子氏

○パネルディスカッション「認知症における支援と連携」

〈司会〉

嵯峨野病院 居宅介護支援事業所
川添チエミ氏

〈パネリスト〉

国立病院機構 宇多野病院神経内科医長
須藤慎治先生

認知症の人と家族の会京都府支部副代表
山添洋子氏

イトウ診療所

伊藤照明先生

京都市西院地域包括支援センター

谷口早月氏

洛和会介護事業部 地域密着型・新サービス事業統括

田邊幸司氏

②「もの忘れ相談医リスト」・「もの忘れ連絡シート」の作成

右京医師会として会員にアンケート調査を行い、身近に相談できる「もの忘れ相談医リスト」を募集・作成しました。このリストは、介護福祉関係者との協議の中で、京都市作成の認知症チェックシートに挟み込む「右京区の認知症に関する相談窓口」（p5・6 参照）にも掲載することとなり、市民公開講座で配布しました。

さらに、医療職と介護職が連携するための「もの忘れ連絡シート」を作成しました。

5 取組の工夫

市民公開講座では、第一部の基調講演として認知症専門医である宇多野病院 須藤慎治先生に、認知症の幅広い範囲の知識を話してもらいました。また認知症の人と家族の会から山添洋子氏に、家族の立場から切実な思いを語ってもらいました。さらに第二部ではパネルディスカッションとして上記2名の講師に加えて、かか

りつけ医、ケアマネジャー、地域包括支援センター、グループホームの立場から代表者に前にでてもらい、計6名でパネルディスカッションを行いました。

6 取組の成果

市民公開講座前日は雪が降り、当日も一日中雨が降る天気にも関わらず、総数：251名（医療・介護・福祉関係者 83名、一般市民 168名）に参加していただき、会場はほぼ満員となりました。

次は参加者アンケートの結果です。

第一部 講演

とても満足	満足	普通	やや不満	とても不満
90	46	16	1	0

（代表意見）

- ・ 1時間の講演の中で脳の働きから認知症の症状など細かく、かつ分かりやすい解説であっという間でした。認知症の治療などの取り組みやデータなどが多く盛り込まれていて集中して学べました。
- ・ 家族の方のお話を聞いて一緒に、と少し気が楽になりました。知人にも今日の話を聞かせてあげます。

第二部 パネルディスカッション

とても満足	満足	普通	やや不満	とても不満
62	44	23	2	1

（代表意見）

- ・ 私が介護を始めた頃には区役所や包括支援センターやかかりつけ医に相談しても事務的な回答しかもらえず、どうしていいかわからないことが多かったのですが、少しずつ変わって来たのが分かってきて希望が持てました。

市民公開講座で認知症の知識は深まりましたか？

とても深まった	やや深まった	普通	あまり深まらなかった	深まらなかった
62	76	9	0	0

（代表意見）

- ・ 住み慣れたところで、家族や専門家だけでなく地域の人の理解が大切であると思いま

す。今日のような講座を聞く機会をもち、子供たちが学校でこのような講義を聞く機会があれば、より理解が深まるのではないのでしょうか。

7 見えてきた課題

- アンケート結果から継続して開催を希望する声が多く聞かれました。
右京医師会主催では予算を含めて負担が大きく、他地区でもされているように、今後右京区において医療・介護・福祉・行政機関と合同で協議会を立ち上げる必要があると考えられます。
- 須藤慎治先生から、立命館大学との連携による認知症予防の試みの話題提供があり、軽度認知障害もしくは認知症軽度の人に対して、認知症予防の取組を提供できる場が少ないことが挙げられていました。今後、地域介護予防推進センターとの連携も含めて、各機関で協力していくことが提案されました。
- 市民公開講座開催にあたり、スーパー・ショッピングモール・銀行・公共交通機関・図書館などの公共施設にポスター掲示およびチラシ配布を協力していただくことができました。日ごろから地域の資源とつながりを持つ重要性が再確認されました。

8 今後の展望

今後も継続して認知症市民講座を開催し、「もの忘れ相談医リスト」を含む右京区の認知症に関する相談窓口を広く活用してもらいたいです。

9 感想、他地域に伝えたいこと

地域の認知症に携わる関係者が積極的に一般市民の前に出て、地域の資源や連携の状況を伝える必要があると考えられました。

10 取組についての問合せ先

一般社団法人 右京医師会
TEL075-872-9850
平日 9時～17時

右京区認知症市民公開講座2014

参加無料
事前申込不要
先着200名

知っておきたい 認知症の知識

日時 2014.2.15 **土**
14:00～17:00 (開場13:30)

場所 花園会館 教化ホール
京都市右京区花園木辻北町1-5
*JR花園駅下車徒歩7分、バス停妙心寺前下車徒歩3分
*駐車場はスペースに限りがありますので、
できるだけ公共の交通機関をご利用ください。



講演

14:00～15:00 **「早期診断から最新の治療, 予防まで」**

国立病院機構 宇多野病院 神経内科 医長 須藤 慎治 先生

15:00～15:30 **「認知症の人の思い、家族の思い」**

認知症のひとと家族の会 京都府支部副代表 山添 洋子 氏

パネルディスカッション

15:40～17:00 **「認知症における支援と連携」**

【司 会】 嵯峨野病院居宅介護支援事業所 川添 チエミ 氏

【パネリスト】 国立病院機構 宇多野病院 神経内科 医長 須藤 慎治 先生

認知症のひとと家族の会 京都府支部副代表 山添 洋子 氏

イトウ診療所 伊藤 照明 先生

京都市西院地域包括支援センター 谷口 早月 氏

洛和会介護事業部 地域密着型・新サービス事業統括 田邊 幸司 氏

お問い合わせ 一般社団法人 右京医師会事務局 Tel. 075-872-9850

主 催: 右京医師会

共 催: 右京区ケアマネジャー連絡会、右京区地域包括支援センター連絡会、公益社団法人 認知症のひとと家族の会 京都府支部

本講座は、京都市の「平成25年度認知症対応 地域支援推進モデル事業」として開催します。



会場の様子



須藤慎治先生

第一部 講演



山添洋子氏

第二部 パネルディスカッション





右京区の 認知症に関する相談窓口

右京区社会福祉協議会 （平日8時30分～17時）

〒616-8105 右京区太秦森ヶ前町 22-3 ☎865-8567

身近な地域で見守り活動、居場所づくり、絆づくり事業をすすめています。認知症への正しい理解を拡げる取り組みや生活費の管理など困りごととの相談もお受けしています。

右京区役所 （平日8時30分～17時）

高齢者の保健や福祉に関する一番身近な行政の相談窓口です。

窓口	相談・申込内容	電話番号
福祉事務所	福祉介護課 要介護認定の申請、その他 介護保険に関すること	☎861-1430
	支援課 介護保険以外の高齢者 福祉サービス	☎861-1454
	保護課 心身に障害のある方 生活にお困りの方	☎861-1451 ☎861-1101(代表)
保健 センター	健康づくり 推進課 精神に障害のある方	☎861-2179
京北地域の方は 京北出張所が 相談窓口です。 (保護課を除く)	福祉担当	☎852-1815
	保健担当	☎852-1816

右京区の高齢サポート（地域包括支援センター）

高齢者のみなさまを、介護・福祉・健康・医療など様々な面から総合的に支えるために設けられた、京都市が委託運営している公的な相談窓口です。

高齢サポート名	電話番号	担当地域(学区)
嵯峨	☎873-3085	水尾・岩陰・嵯峨・広沢
花園	☎466-2711	高雄・宇多野・御室・花園
嵐山	☎871-0200	嵐山・嵯峨野
梅津	☎862-5171	梅津・北梅津
常磐野	☎873-3156	常磐野・太秦・南太秦
西院	☎812-6712	安井・山ノ内・西院第一・西院第二
京北	☎854-1111	京北第一・京北第二・京北第三
葛野	☎322-2236	葛野・西京極・西京極西

右京区地域介護予防推進センター （平日9時～17時）

〒615-0924 右京区梅津所溝町 66-1 ☎864-1084

京都市の委託を受け、65歳以上の方を対象に、区民の皆さまがいつまでも元気で暮らせるよう「介護予防」の普及推進を図っています。

若年性認知症コールセンター （月～土10時～15時） 年末年始・祝日除く

☎0800-100-2707 相談料無料

厚生労働省の委託を受けた認知症介護・研修大府センターが運営しています。

◎認知症の相談ができる医療機関

医療機関	住 所	電話番号
1 うすまさ第二診療所	嵯峨広沢南野町 26-2-2	☎863-5581
2 亀井診療所	嵯峨釈迦堂大門町 40	☎861-0686
3 木暮医院	嵯峨大覚寺門前六道町 60	☎861-2717
4 嵯峨嵐山・田中クリニック	嵯峨釈迦堂門前瀬戸川町 4-8	☎873-2925
5 高島診療所	嵯峨天龍寺今堀町 2	☎861-3531
6 矢間酒井診療所	嵯峨天龍寺龍門町 18-1	☎861-0177
7 イトウ診療所	常盤東ノ町 22-3	☎882-5156
8 井上医院	鳴滝嵯峨園町 10	☎461-5237
9 加藤医院	常盤東ノ町 16-46	☎882-0300
10 澤野医院堀池診療所	太秦堀池町 15-9	☎882-5665
11 村上医院	太秦開日町 3-4	☎881-7778
12 衣笠医院	龍安寺青宮町 5	☎462-8473
13 竹腰医院	御室芝橋町 6-19	☎461-6288
14 土橋医院	谷口垣ノ内町 12-7	☎462-1175
15 山田医院	御室堅町 23-4	☎463-9565
16 竜安寺クリニック	龍安寺西ノ川町 7-6	☎461-3386
17 石田医院	嵯峨野有栖川町 40-168	☎861-2316
18 岡田医院	嵯峨中又町 25	☎861-0582
19 おくい診療所	嵯峨野開町 8-60	☎873-3515
20 小室整形外科医院	嵯峨野開町 21	☎871-0519
21 朋生会中尾クリニック	嵯峨柳田町 11-8	☎871-5450
22 細田内科医院	太秦御所ノ内町 7-10	☎864-6778
23 かねみつ内科クリニック	太秦下刑部町 181	☎873-8686
24 三幸会うすまさクリニック	太秦森々西町 12-3	☎871-3100
25 田代医院	太秦組石町 3	☎861-0124
26 辻田医院	太秦上刑部町 15-1	☎861-2711

右京医師会が同意を頂いた医療機関を載せています。

初めて受診する際は、事前に連絡してください

医療機関	住 所	電話番号
27 としもりクリニック	太秦下刑部町 170	☎366-3784
28 古谷医院	太秦百合ヶ本町 8-201	☎872-2591
29 太田診療所	花園伊町 6	☎461-7568
30 内田病院	梅津大縄場町 6-9	☎882-6666
31 大塚医院	梅津前田町 65-4	☎881-3088
32 斎藤医院	梅津後藤町 9-7	☎861-3225
33 坂本医院	梅津堤上町 17	☎863-5656
34 山本医院	梅津北浦町 19-15	☎872-5667
35 たけだ診療所	西京極北大入町 65	☎321-1117
36 西大丸診療所	西京極西大丸町 29	☎311-5992
37 山ノ内診療所	山ノ内宮脇町 9	☎841-9812
38 神山医院	西院東淳和院町 4	☎312-4114
39 西京病院	西院北矢掛町 39-1	☎313-0721
40 田辺メンタルクリニック	西院東淳和院町 1-1	☎325-2554
41 中川診療所	西京極東町 14	☎313-0388
42 西京極診療所	西京極佃田町 17	☎314-2866
43 京都市立京北病院	京北下中町鳥谷 3	☎854-0221
44 山本クリニック	京北周山町室谷 1-2	☎852-6070

◎認知症の検査を行う専門医療機関(完全予約制)

医療機関	住 所	電話番号	受診外来
A 国立病院機構宇多野病院	鳴滝音戸山町 8	☎461-8309 受付(平日) 月～金 9-16時	もの忘れ外来 (紹介状必要) 月・火・水曜日
B うすまさ診療所	太秦堀ヶ内町 1	☎863-6152 受付(平日) 月～金 9-20時	神経内科外来 火・水・金曜日

右京医師会作成 (2014年1月)

取組②「北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会運営事業」

一般財団法人 京都地域医療学際研究所
(鳳徳地域包括支援センター受託事業所)

1 実施主体の紹介

「北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会」(以下、「ネットワーク連絡会」とします)は、地域の医師会や医療・福祉分野で高齢者の支援を行う団体が参加し、認知症支援を進めています。

「北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会」構成団体(平成26年3月現在)

一般社団法人京都北医師会・一般社団法人京都市西陣医師会・上京東部医師会・京都府立医科大学附属病院認知症疾患医療センター・北区地域包括支援センター・上京区地域包括支援センター・京都北薬剤師会・認知症の人と家族の会・北区社会福祉協議会・上京区社会福祉協議会・京都府作業療法士会・京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター・北福祉事務所・上京福祉事務所

2 実施地域の特徴

実施地域である北区・上京区では、平成24年度から3つの地区医師会と地域包括支援センター等で認知症の諸問題に取り組むネットワーク作りを推進しています。

平成24年度は地区医師会の協力を得て「もの忘れ相談医リスト」の作成などを行いました。

3 取組の目的

地域における認知症の方の早期発見から早期診断・治療・地域ケア体制を関係者が協力して構築し、認知症になっても住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けて行ける北区・上京区とするため広報・啓発・関係者の対応力向上を「ネットワーク連絡会」の目的としています。

認知症の方の支援には医療との連携が欠かせません。「ネットワーク連絡会」では、「もの忘れ相談医リスト」から始めた連携の取組をさらに一歩進め、実際に医療と介護の関係者が「顔の見える関係」をつくるため、「医師・医療スタッフ専門職向け講習会」を企画しました。

また、地域の方と一緒に認知症の人が暮らし続けられる地域づくりを進めたいと思い、認知症を病気として理解するための「地域支援者向け講習会」を企画しました。

4 取組の内容

①「医師・医療スタッフ専門職向け講習会」

地域医療を支える医師と介護職の連携のため、医療職を対象とした講習会を開催しました。

【テーマ】「～住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるために～北区・上京区の認知症地域ケア」

【日 時】平成25年9月28日(土)
15時～17時

【場 所】京都府立医科大学青蓮会館3階

【内 容】

○特別講演「認知症と地域ケア」

京都府立医科大学附属北部医療センター
病院長 中川正法先生

○パネルディスカッション

「認知症を地域で支えるために～医療・介護・福祉の力を～」

〈司会〉

上京東部医師会 竹上内科クリニック
院 長 竹上徹先生

〈パネリスト〉

京都府立医科大学附属北部医療センター
病院長 中川正法先生

京都北医師会 田村外科

院 長 田村耕一先生

北薬剤師会地域医療委員みやこ薬局(株)

薬剤師 西村雅子氏

認知症の人と家族の会京都府支部

世話人 原田真美氏

紫竹地域包括支援センター

センター長 小畑智子氏

訪問看護ステーションせせらぎ

所 長 江本千代子氏

〈コメンテーター〉

上京東部医師会 つばき医院

院 長 椿恒雄先生

②「地域支援者向け講習会」

地域を支えていただいている民生児童委員、老人福祉員、社会福祉協議会の方に認知症の方の理解と支援者として何が出来るのか、どのように支えるかを学ぶための講習会を開催しました。

【テーマ】「北区・上京区認知症特別講座 わたしたちが気づき・つなぎ・支える」

【日 時】平成25年11月16日(土)

14 時～16 時半

【場 所】京都府立医科大学図書館ホール

【内 容】

○講演「認知症の基礎知識」

京都府立医科大学附属病院認知症疾患医療
センター 松岡照之先生

○シンポジウム「わたしたちが気づき・つな
ぎ・支える」

〈コーディネーター〉

認知症の人と家族の会 京都府支部

荒牧敦子氏

〈シンポジスト〉

京都府立医科大学附属病院認知症疾患
医療センター

松岡照之先生

認知症の人と家族の会

徳廣三木子氏

岩倉地域包括支援センター

松本恵生氏

原谷地域包括支援センター

鈴木太一氏

成逸地域包括支援センター

上林里佳氏

5 取組の工夫

- 「医師・医療スタッフ専門職向け講習会」は、各地区医師会からの周知だけではなく、地域包括支援センター職員が病院や診療所を訪ねてチラシを手渡し、参加を呼びかけました。
- 「地域支援者向け講習会」は、民生児童委員や老人福祉員、社会福祉協議会のほかに「一人暮らしお年寄り見守りサポーター」にも参加を呼びかけました。

6 取組の成果

- 「医師・医療スタッフ専門職向け講習会」は 123 人の参加があり、そのうち医師は 32 人、医師以外の医療関係者（看護師等）は 47 人でした。特別講演は、専門的な診断・評価や MCI についての診断基準、アルツハイマー病の発症機序・画像診断について、また、薬剤の選択や認知症ケア、家族のケア、オレンジプランや終末期ケアに至るまで幅広い内容で、非常に好評でした。
- また、この講習会を機に、認知症専門医、精神科医、神経内科医、かかりつけ医、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所のケアマネジャーでケース検討をする「北・上認知症等カンファレンス」を月1

回開催することになりました。

- 「地域支援者向け講習会」は、215 人が参加しました。講演はわかりやすく、参加者は熱心に聞いていました。シンポジウムでは、徳廣氏の話に参加者は共感された様子で、うなずきや笑顔が見られました。

7 見えてきた課題

今後は医療職や地域支援者だけでなく、北区・上京区の区民に対し、幅広い認知症に対する理解・周知が必要だと考えています。

また、直接高齢者に関わる介護保険サービス事業所の職員に対しても、専門職として研修の機会を提供し連携していきたいとの意見が出ました。

8 今後の展望

平成 25 年度は講習会が主でしたが、平成 26 年度は講習会と合わせて、「認知症カフェ」・「北・上認知症等カンファレンス」の継続・徘徊への備え研究会」活動などの実践を行ってきたいです。

9 感想、他地域に伝えたいこと

- 「ネットワーク連絡会」では、これらの講習会のほかにも、「認知症相談対応マニュアル」の作成など様々な取組を実施しています。取組ごとに、プロジェクトメンバーを「ネットワーク連絡会」構成員の中からつくって活動することで、特定の団体に負担が集中しないよう配慮しています。この仕組みは他地域でも運用の参考になると思います。
- 他地域の取組について勉強し、北区・上京区の事業にも取り組んでいきたいと考えています。

10 問合せ先

鳳徳地域包括支援センター

TEL075-223-3511

平日9時～17時

北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会

～住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けるために～

「北区・上京区の 認知症地域ケア」

謹啓 残星の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、北区・上京区におきましては、認知症の方の早期発見から早期診断・治療・地域ケア体制を関係者が協力して構築し、住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けていける北区・上京区とするために、皆様方の協力のもと認知症サポートネットワーク連絡会を設置しています。

今回、認知症診療に携わっておられる先生方や専門職の皆様と、共に勉強し、意見交換できる場になればと考えております。是非ともご参加の程よろしくお願い致します。

謹白

- 日時 平成25年9月28日（土）
15時00分～17時00分
- 場所 京都府立医科大学 青連会館3F ※詳しくは裏面をご覧ください
- 特別講演 座長： 竹上内科クリニック 院長 竹上 徹 先生

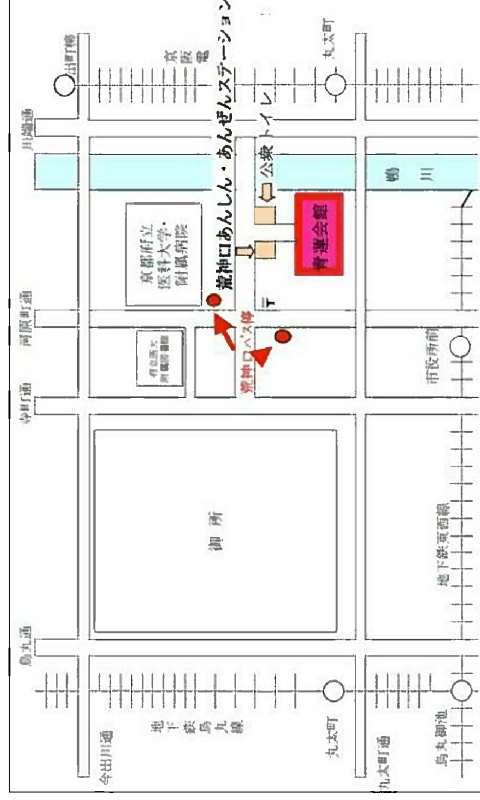
「認知症と地域ケア」

京都府立医科大学附属北部医療センター病院長 中川 正法 先生

- パネルディスカッション
「認知症を地域で支えるために～医療・介護・福祉の力を～」
(司会)

上京東部医師会	竹上内科クリニック	院長	竹上 徹 先生
(パナリスト)			
京都府立医科大学附属北部医療センター病院長	中川 正法 先生		
北医師会 田村外科 院長	田村 耕一 先生		
北薬剤師会 地域医療委員 みやこ薬局 (株) 薬剤師	西村 雅子 氏		
認知症のひと家族の会 京都府支部世話人	原田 真美 氏		
紫竹地域包括支援センター センター長	小畑 智子 氏		
訪問看護ステーションせせらぎ 所長	江本 千代子 氏		
(コメンテーター)			
上京東部医師会	つばき医院	院長	椿 恒雄 先生

共催：京都北医師会・上京東部医師会・西陣医師会
北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会



青連会館

京都市上京区西三本木通荒神口下る上生洲町197-1
TEL：075-231-0067

参加申込書

法人・施設・事業所 名			
職種・職名			
氏 名			
連絡先	- -		

▷▷ FAX 送信先： 075-414-2663 (事務局)

参加ご希望の方はFAXの送信をお願いいたします

■ お問い合わせ先

京都市鳳城地域包括支援センター
TEL：075-431-6410



北区・上京区認知症特別講座

わたしたちが
気づき・つながぎ
・支える

日時

平成25年11月16日(土)

14:00～16:30(受付13:30～)

会場

京都府立医科大学
図書館ホール

〒602-0857 京都市上京区広小路通男勝町西入 075-212-5400内

主催・北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会

北区・上京区認知症特別講座

わたしたちが気づき・つながぎ・支える

講演

「認知症の基礎知識」

京都府立医科大学 認知症研究センター 松岡照之先生

シンポジウム

(シンポジスト)

京都府立医科大学 認知症研究センター 松岡照之先生

認知症の人と家族の会 徳勝三木子氏

京都府立医科大学 認知症研究センター 松本 崇生氏

(コーディネーター)

認知症の人と家族の会 荒牧 寛子氏

日時 平成25年11月16日(土)
14:00～16:30(受付13:30～)

会場 京都府立医科大学 図書館ホール

〒602-0857 京都市上京区広小路通男勝町西入 075-212-5400内



お問い合わせ

北 区 役 所 (支障保護課) 075-432-1369 FAX.075-414-1217
上 京 区 役 所 (支障保護課) 075-441-5121 FAX.075-441-7211

取組③「認知症の人とその家族のためのカフェ」

社会福祉法人 緑寿会
(日ノ岡地域包括支援センター受託法人)

1 実施主体の紹介

山科区には5つの地域包括支援センターがあり、日々連携をとりながら高齢者支援を進めています。代表受託した日ノ岡地域包括支援センターは、山科区の北西部にある陵ヶ岡学区と鏡山学区を担当しています。本事業の会場となった喫茶店は鏡山学区にあります。隣接する山階学区、西野学区を担当する山階地域包括支援センターとも協働し、事業運営に取り組みました。

2 実施地域の特徴

山科区は元々京都市の中心部に比べ若年層の多い地域でしたが、平成22年頃より高齢化率は市内平均を上回りました。また、なかでも本事業を実施した鏡山、西野、山階学区は大規模な公営団地等を抱え、区内でも高齢化率及び独居高齢者の割合が高い地域となっています。

【高齢化率の比較(%)】¹⁾

	京都市	山科区	鏡山	西野	山階
平成12年	17.2	15.3	16.2	13.8	14.5
平成17年	19.9	18.9	20.3	20.7	19.6
平成22年	23.0	23.4	25.2	27.3	23.7
平成26年	25.4	26.2	29.3	29.3	26.5

3 取組の目的

「地域包括ケアシステムの構築」は平成24年度の介護保険法改正の基本理念となっていますが、この理念で謳われているシステムで本当に全ての高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるのかという疑問がありました。なぜなら「認知症」「一人暮らし」「身寄りがない」という3つの要件が重なると、地域は途端にその高齢者を排除しようとし、サービスの隙間を埋めるはずの地域の見守りが機能しなくなってしまうからです。上述の3つの要件は社会の趨勢といえるものであり、また、高齢化の進行にもれなく付随する不可避な問題といえますが、認知症に対する社会の偏見を是正することは可能であり、そうすることで地域包括ケアシステムは機能すると考えました。

目的の1つ目は、「喫茶店」という日常的な空間でリラックスして互いの悩みを話し合うこと

で、同じ悩みを持つ仲間や相談機関と繋がっていくことです。

2つ目の目的としては、市民ひとりひとりが、認知症に対して正しい認識を持つことで、認知症を自分もしくは家族の問題として具体的に考えることができるようになることです。そのことが認知症の早期受診・早期治療につながり、結果的に認知症に悩む人や認知症の家族の介護に翻弄される人を減らすことができるのではないかと考えました。

3つ目の目的として、医師という職種に対して親しみをもってもらうことです。本事業では山科医師会介護保険部会の医師に輪番で実施場所である喫茶店に来てもらい、一緒に茶話会に参加することで、高齢者の医師に対する「話しにくい」「どうしても遠慮してしまう」といった感情を緩和させ、「気軽に相談できる医療の専門家」とであるという新たな見地を得てもらうことを目指しました。これは上記の2つ目の目的とも重なりますが、オルタナティブな観点では医療と介護、そして生活の場等の連続した連携体制の構築の礎になると考えました。

4 取組の内容

【日 時】平成25年11月～平成26年3月
原則第2・第4木曜日 15～17時
全10回開催(月2回)

【場 所】ブランシュ・カフェ
(「山科ショッピングストアー今屋敷21番街」という商店街の中にあります)

【対象者】認知症の人とその家族
及び認知症に不安を抱える人

【内 容】音楽鑑賞及び講話を交えた茶話会

【体 制】(基本的な配置)

- ・地域包括支援センター職員 3名
- ・ボランティア 5名

認知症あんしんサポーターアドバンス講座受講者や居宅介護支援事業所のケアマネジャーが参加しました。

・山科医師会所属の開業医 1名(隔回)
月1回、交代で1名の参加があり、利用者との交流の機会となりました。

5 取組の工夫

認知症の人が途中で飽きて立ち上がったたりしないよう、各プログラムを短めに設定し、次々場面転換することで、最後まで集中してくださるように配慮しました。また、認知症の人とその家族のテーブルをそれぞれ分けたことで、ゆっくりと話をしやすい雰囲気づくりに努めました。

6 取組の成果

- 全 10 回の延べ参加者数は 140 人（うち、認知症の人 71 人、家族 21 人、その他 48 人）でした。開始当初は上述した認知症カフェの目的や機能がうまく伝わらず、本来の対象者の集まりはよくありませんでしたが、その後のケアマネジャーや民生委員・老人福祉員等に対する継続的な周知活動により参加者層が徐々に変容し、人数も徐々に増えてきました。
- 各回終了後のスタッフミーティングでは、医師が来店する日は家族の満足度がより高かったことが確認できました。診察室の外において医師が家族の話を傾聴することは大変有用であると強く感じました。また、介護者家族同士の会話もピアカウンセリング効果が得られ満足度の向上に繋がっていると感じました。
- 約半年間と長期に渡る本事業に、医師やボランティアの介護職など多様な職種が継続的に参加することで、お互いの役割について理解を深め、今後の連携促進に繋げることができました。特に、地域包括支援センターとして、介護予防支援業務や介護予防の普及啓発事業等に留まらない、地域支援事業の全容を発信するよい機会となりました。

7 見えてきた課題

- 当初、コーヒー引換券付きのカラーリーフレット（p15・16 参照）を大量に印刷しましたが、誰も持ってきてはくありませんでした。（完全に対象者層を読み違えていました）
- ハード面の問題では、既存の喫茶店を間借りしたため、一般の人にも敷居が低く入りやすい反面、「カフェ」開催中に一般のお客さんも混じっておられることもあり、何やら混沌とした雰囲気の日もありました。無

論当初掲げた地域全体に認知症の理解を広めていくという理念に照らせば、一般の人にもインクルージョンしていくこともまた正解といえるのですが、喫茶店という狭い空間の中では無理がありました。

- 「認知症カフェ」については最近になって調査研究が行われ、いくつかの報告書²⁾もありますが、明確な定義というのはいえないでしょう。また、最近各地で実施されている「居場所づくり」とは目的を異にする事業であり、本事業の実施にあたっては「相談機能に重点を置く」ということを一つの方向性に掲げてきましたが、地域の方々と歩調を合わせていく中で「カフェ」の参加対象者の範囲がどうしても曖昧にならざるをえなかったということがいえるでしょう。

8 今後の展望

平成 26 年度においても、月 1 回程度は継続開催できるよう現在地域の方や会場の候補となる店舗に折衝中です。いずれはキャラバン方式で地域を回りながら、認知症の理解を広げ、気軽に話し合える社会を作る礎になればと考えています。

9 感想、他地域に伝えたいこと

上述のとおりです。

10 問合せ先

日ノ岡地域包括支援センター
TEL075-595-5575
平日 9 時～17 時

出典

1) 平成 12、17、22 年は『京都市地域統計要覧』、平成 26 年は京都市情報館の住民基本台帳に基づく統計より（最終検索日平成 26 年 3 月 10 日）

2) 公益社団法人認知症の人と家族の会編『認知症カフェのあり方と運営に関する調査研究事業報告書』（2013）

マスコットキャラクター
もつくりました。

日ノ岡パンダくん
です！！



認知症の人とその家族のためのカフェ

☆各回の内容☆



回	開催日	音楽鑑賞	講話など
1	25年11月14日	コントラバスの演奏 特別養護老人ホーム山科苑 岸田光彦氏	『山科の昔と今 これから』 神戸市/岡地地区支援センター 堀田晃平氏
2	11月28日	尺八と民謡の演奏 竹鼻芸能塾	『座談会』 高須町塚診療所 高須正史医師
3	12月12日	大正琴の演奏 琴花会 野菊	『悪質商法の手口と対処法』 消費生活総合センター 野口圭子氏
4	12月26日	マンドリンとギターの演奏 La luce solare	『座談会』 えびすい医院 戎井浩二医師
5	26年 1月16日	ピアノの演奏 舘森早映子氏	『ハンドエステ』 ポーラザビューティー間中さつき氏
6	1月30日	ギターの演奏 富きくお氏	『座談会』 片岡医院 片岡正人医師
7	2月13日	リコーダーの演奏 ピッコリーナ	『元気のもとになる自宅での〇〇』 佛教大学作業療法学科 苅山和生氏
8	2月27日	ピアノの演奏 中村里美氏	『座談会』 たかせ整形外科 高瀬年人医師
9	3月13日	チェロとギターの演奏 さど耳鼻咽喉科クリニック 佐渡文彦医師	『家族が元気であるために』 山科保健センター 南部美紀子保健師
10	3月27日	ギターとピアノの演奏 三井亮一氏・宝輪清美氏	『座談会』 牧野クリニック 牧野弘之医師



音楽鑑賞

山科医師会所属の
開業医による講話



ブランシュ☕カフェ

に遊びに来ませんか

この度、高齢サポート「日ノ岡」及び「山階」では、京都市の認知症対応地域推進モデル事業の採択を受け、西野の喫茶店「ブランシュ」において認知症の人たちとその家族の人たちの交流の場として「認知症カフェ」を下記の日程で定期的を開催することとなりました。

一人で悩まず、同じ悩みをもつ仲間を作りませんか？



周辺ご案内図



□今年度の開催予定日

平成 25 年	11 月	14 日、28 日※
	12 月	12 日、26 日※
平成 26 年	1 月	16 日、30 日※
	2 月	13 日、27 日※
	3 月	13 日、27 日※

(開催時間はすべて午後 3 時～5 時です)

※の日は山科医師会からお医者さんも来られますので、認知症の悩みなど、お気軽にご相談頂けます。

□お申込み・お問い合わせは

陵ヶ岡、鏡山学区にお住まいの方	高齢サポート・日ノ岡 TEL : 5 9 5 - 5 5 7 5
山階、西野、安朱学区にお住まいの方	高齢サポート・山 階 TEL : 5 8 3 - 5 8 3 3

上記以外の学区にお住まいの場合や、ご自分のお住まいの学区が不明な場合は「高齢サポート日ノ岡」までお問い合わせ下さい。

※なお、当事業への参加は原則申込み制となっております。参加ご希望の方は日ノ岡もしくは山階、上記いずれかの高齢サポートまでお電話下さい。

Blanche Cafe (ブランシュカフェ)

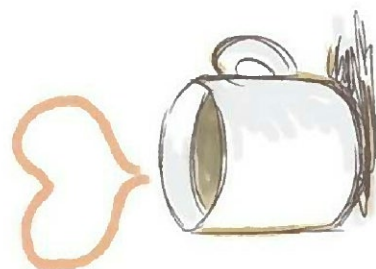
に遊びに来ませんか



この度、西野の喫茶店「ブランシュ」さんにおいて認知症の人たちとその家族の人たちの交流の場として「認知症カフェ」を下記の日程で定期的を開催することとなりました。

コーヒーを飲みながら、認知症に関する悩みをみんなで話し合いませんか。また、月に1回は山科医師会から先生も来られますので、認知症に関して普段感じていらっしゃる素朴な疑問等あれば何でもお気軽にご相談下さい。お待ちしております。

ブランシュカフェ コーヒー紅茶 無料交換券



認知症カフェ開催時（右ページの日程をご参照ください）に本券ご持参の上、お越しの方には本券1枚にて、コーヒーもしくは紅茶1杯を無料で進呈いたします

MK0-



□いつやっているの？

平成25年	11月 14日、28日（※）
	12月 12日、26日（※）
平成26年	1月 16日、30日（※）
	2月 13日、27日（※）
	3月 13日、27日（※）

時間は全て午後3時～午後5時

なお、※の日は山科医師会より医者さんもお来られますので、認知症についてお気軽にご相談頂けます。

□どこでやっているの？

フランチカフェ（地図を参照下さい）

□利用するには？

飛び込みで来ていただいても構いませんが、できれば事前に高齢サポート日ノ岡（TEL：595-5575）または、山階（TEL：583-5833）までお電話下さい。



フランチカフェ周辺ご案内図



フランチ カフェ
住所：京都市山科区西野今屋敷町 27-6
電話：595-5525

お問い合わせ窓口（お住まいの地域によって二箇所ございます）

センター名	お住まいの学区	電話番号
①高齢サポート・日ノ岡	陵ヶ岡、鏡山学区	TEL：595-5575
②高齢サポート・山階	山階、西野、安来学区	TEL：583-5833

なお、上記以外の学区の方や、ご自分のお住まいの学区が分からない場合は「①高齢サポート・日ノ岡」までお問い合わせ下さい。